

野西、青森山田が決勝へ

7年連続同カード、あす激突

【全国高校サッカー】青森県大会2次予選、予選第4日は3日、八戸市、連覇が懸かる青森山田県工カ1選手権青森県大会2次予選、準決勝2試合を行った。27日、最終日の5日は、青森市カ2ヒロケループアスレチ

野西 長谷川 会心の先制ヘッド



【準決勝・八学野西ー八学光星】前半15分に先制点を決め、駆け出す八学野西の長谷川陽大（手前左）＝八戸市プライフーズスタジアム

八学野西は大会から初め、番番10を着けたストライカーが、勝利の立役者となった。試合を左右する先制点を決め、W長谷川陽大は「先輩たちが決勝に進んできたのに、自分たちが負けるわけにはいかなかった。7年連続の決勝に進出の喜びを爆発させた。一進退の攻防が続いていた前半15分、ペナルティエリア内でこぼれ球を拾ったFW小向光が右足に持



【準決勝・八学野西ー八学光星】後半、攻め上がる八学光星の久保沢瑞樹（中央）

好機生かせず、悔し涙 光星、系列校対決敗れる

〇…八学光星は前半に幾つかあった好機を生かせず、7年ぶりの決勝進出を果たせなかった。下田聖人主将は「自分たちがやってきたことを発揮できないまま、終わってしまった」と大粒の涙を流した。

八学野西との系列校同士の戦いとなった準決勝。戦前は、昨秋に新チームが始動してから新人戦や県高校総体などで勝利し、3勝1敗と勝ち越している光星が有力かに思われた。

ただ、立ち上がりから攻勢を強めた野西に対し、光星は「圧倒され

てしまった」（下田主将）。前半のシュート本数は光星が5本と野西を3本上回ったが、決定機を逃した。「まだ全然行ける。やる気を出していこう」。リードされて迎えた後半、下田主将が何度もチームを鼓舞し、全員でゴールに迫ったがネットは揺らせず。前のめりになったところにカウンターを受け、3失点した。

エースのFW久保沢瑞樹は「点を取るために、もっとリスクを冒すべきだったが…。もっと強気にシュートに行かなければならなかった」と悔いた。